



みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 元旦に一年の計を立てる!! —

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

■SDGs 14 & 15…海と陸の豊かさを(も)守ろう

海や陸の豊かさを考える時に、生物多様性という考え方があります。生物多様性とは、地球に生息する動植物や微生物など全ての生き物の命のつながりのことです。もう少し詳しく言えば、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性のことです。生物多様性条約が1992年に制定されました。その生物多様性が、地球温暖化などによる気候変動／気候危機の影響で脅かされているのです。

■レッドリスト (R: Red List)

レッドリストという言葉聞いたことがありますか。「レッドリストとは絶滅のおそれのある野生生物の種のリストです。」レッドリスト2020では、2019と比較して絶滅危惧種が40種増加し、合計3,716種になりました。(出所:環境省のホームページ)国際自然保護連合(IUCN)が作成しています。ま

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

た「ふくしまレッドリスト(2020年版)」の掲載種数は、1,381種もあります。(出所:福島県のHP)

■ベンガルトラ

「新年あけましておめでとございます」と迎えてくれたのは、2022年の干支・寅さんです。「私たちがトラは、広くアジアに生息していましたが、その多くが絶滅危惧種に指定されています。ジャワトラはすでに絶滅してしまいました。ガンジス川下流に住むベンガルトラも窮地に陥っています。その大きな原因が、気候変動による海面上昇でマングローブが水没しそうですね。衣食住がピンチなのです。」(参照:環境保全団体WWFジャパンのホームページ)

■みんなのできる地球温暖化防止活動

寅さんは言います。「野生生物をこれ以上追い詰めないためにも、気候変動対策が急務です。一年の計は元旦にあります。(1)車の急発進をしない。自家用車の使用を減らす。(2)再エネで発電した電気を使用する。(3)食品ロスなどごみを減らす。(4)プラスチック製品ではなく木製品を選ぶ。(5)食料品や日用品は、できる限り地元のものを購入する。(6)エアコンの温度設定を適切にする。(7)動植物を愛する。」誰にでもできる簡単な対策がまだまだありそうです。

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>